

## 第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 進捗状況(平成25年度末時点)

基本理念: 認めあい、つなぎあい、支えあうまち 東村山

第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			取り組み状況(平成25年度末時点)	今後の方針・課題等
基本目標	施策の方向	おもな取り組み		
福祉を推進していくためのまちづくり	(1)地域に暮らし続けるための環境整備	①地域密着型サービス事業所の整備・充実	<p>○東部圏域に白十字あきつの里を指定した。 指定(開設)時期:平成25年9月 事業所名:白十字あきつの里 運営事業者:社会福祉法人白十字会 サービス種別:認知症対応型共同生活介護(※介護予防を含む) 小規模多機能型居宅介護(※介護予防を含む) その他併設サービス (地域交流スペース・居宅介護支援・訪問介護・訪問看護)</p> <p>○(仮称)南台総合ケアセンターの整備を支援した。(下記(1)②参照)</p> <p>○南部圏域における地域密着型サービス提供事業者を公募、選定し、サービス提供予定事業者を決定した。 指定(開設)予定時期:平成26年度中 事業所名:(仮称)東村山翔裕園 サービス提供予定事業者:社会福祉法人長寿村 サービス種別:認知症対応型共同生活介護(※介護予防を含む) 複合型サービス その他併設サービス(地域交流スペース)</p> <p>○定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービス提供事業者を公募、選定し、サービス提供予定事業者を決定した。 指定(開設)予定時期:平成26年秋 事業所名:ヘルパーステーション白光園 サービス提供予定事業者:社会福祉法人白十字会 サービス種別:定期巡回・随時対応型訪問介護看護</p>	<p>○整備中の案件については、適宜進捗状況を把握するとともに、補助金申請、指定申請等の事務を円滑に行っていく。</p> <p>○第6期計画に向けて、地域密着型サービスの整備方針を検討する。</p>
		②南台団地集約型団地再生事業における整備敷地の活用	<p>○(仮称)南台総合ケアセンターの整備を支援した。 指定(開設)予定時期:平成27年度 事業所名:(仮称)南台総合ケアセンター サービス提供予定事業者:社会福祉法人敬愛会 サービス種別:認知症対応型共同生活介護(※介護予防を含む) 複合型サービス その他併設予定サービス (通所介護・居宅介護支援・訪問介護・短期入所生活介護・地域交流スペース・売店・サービス付き高齢者向け住宅・クリニック)</p>	<p>○適宜進捗状況を把握するとともに、補助金申請、指定申請等の事務を円滑に行っていく。</p>
		③サービス付き高齢者向け住宅の設置受け入れへの対応	<p>○設置を検討している事業者からの相談に応じ、事業の概要を聴取するとともに、市の計画や地域の状況について説明した。 具体的な整備段階にある事業者からの相談に対しては、事業計画を聴取した上で、一定の条件を付すことで対応した。</p>	<p>○第6期計画を検討するなかで、有料老人ホーム等を含め、高齢者向けの住まいの提供について検討し、市の方針を定めていく。</p>

## 第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 進捗状況(平成25年度末時点)

基本理念:認めあい、つなぎあい、支えあうまち 東村山

第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			取り組み状況(平成25年度末時点)	今後の方針・課題等
基本目標	施策の方向	おもな取り組み		
		④高齢者住宅事業(都営住宅内シルバーピア)の継続	○入居者の高齢化に伴い、管理業務にとどまらない生活相談等の必要性が高まる中、現在のワーデンと呼ばれる常駐型管理人による管理から、生活相談の機能を有したLSA(ライフサポートアドバイザー)への転換を検討しており、現在ワーデンと今後の対応について協議を進めている。 平成25年度において24時間機械警備システムを導入した。	○LSA(ライフサポートアドバイザー)への転換の検討を進める。
		⑤バリアフリー化の推進	○バリアフリー新法や東京都福祉のまちづくり条例等に基づき、事業者からの相談に応じ、必要に応じて調査を行った。	○バリアフリー新法や東京都福祉のまちづくり条例等に基づき、事業者からの相談に応じ、基準への適合を確認し、バリアフリー化を推進していく。
(2)介護サービスの質の向上と介護給付の適正化		①サービスの質の向上のための体制づくり	○居宅介護支援事業者等からの相談に対して、必要に応じて事業者作成のケアプランやサービス計画書等を基準に照らし合わせて確認し、助言や支援をしている。  ○介護事業者連絡会(居宅介護支援事業者・訪問介護事業者・通所サービス事業者・訪問看護ステーションの各連絡会)における研修活動やケアマネージャーハンドブックの作成、ケアプラン点検支援マニュアルの作成等、サービスの質の向上に対する自主的な取り組みに対し、市と地域包括支援センターが連携して支援を行っている。	○継続実施。  ○地域密着型サービス事業者連絡会の立上げを検討中。
		②介護給付適正化の取り組みの推進	○平成24年度に引き続き外部有識者1名と地域包括支援センターの主任ケアマネージャーと、居宅介護支援事業者の主任ケアマネージャーと高齢介護課でケアプラン点検支援マニュアル検討会を行った。  ○在宅サービス利用者に対し、給付費通知を年2回送付した。  ○要介護認定の適正化を図った。(下記(2)④参照)	○年度内にケアプラン点検の一環として、アセスメントシートという様式を作成し、地域包括支援センター職員向け研修、居宅介護支援事業者の主任ケアマネージャー向け研修等を行い、ケアプラン点検や事例検討のスーパーバイズ等を行っていく。  ○給付費通知について、わかりやすい表記となるよう工夫する。
		③介護サービス事業所に対する実地指導及び集団指導の推進	○実地指導については、介護サービス事業所への実地指導を実施した。 東京都福祉保健財団(指定事務受託法人)との連携による指導:10件、市単独の実地指導 1件、東京都が実施するものへの同行 3件  ○集団指導については、指定特定施設入居者生活介護事業者への集団指導を近隣5市合同(小平市・清瀬市・東久留米市・東大和市・東村山市)で実施した。講師として、東京都福祉保健局指導監査部へ講師派遣を依頼。参加:全18事業所(うち東村山市5事業所)	○継続実施。  ○継続実施。

## 第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 進捗状況(平成25年度末時点)

基本理念: 認めあい、つなぎあい、支えあうまち 東村山

第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			取り組み状況(平成25年度末時点)	今後の方針・課題等
基本目標	施策の方向	おもな取り組み		
		④要介護・要支援認定業務の適正運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○直営認定調査の継続 遠隔地以外の認定調査をすべて直営で行い、認定調査結果の点検を全件実施した。 平成25年度認定調査実施件数 6,707件 うち直営調査 6,465件(96.4%)</li> <li>○審査会委員・認定調査員の研修の実施 認定調査員の審査会参加研修を全調査員に実施。また、調査員時間が空いた時に、他の調査員の調査結果の読み込みをする研修を継続的に実施している。</li> <li>○非該当訪問の継続 要介護認定の非該当者を地域包括支援センターと訪問し、介護予防事業等につなげた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○継続実施。</li> <li>○継続実施。</li> <li>○継続実施。</li> </ul>
	(3)地域における防災体制の整備	①要援護者支援対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○要援護者台帳の整備 平成24年12月に開始した、要援護者に対する地域のつながりづくりや緊急時の支援に活用するための要援護者台帳(手上げ方式)への登録を継続して実施した。(25年度末登録者数:2,376人)</li> <li>○民間事業者等との「みまもり協定」の締結 民間事業者と協議し、新たな事業者と「みまもり協定」を締結した。</li> <li>○二次避難所の協定締結 事業者と協議し、新たに6施設と二次避難所の協定を締結した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○継続実施。</li> <li>○継続実施。</li> <li>○継続実施。</li> </ul>
住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせるしくみづくり	(1)住み慣れた地域で高齢者を支えるサービスの充実	①地域包括支援センター事業の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市と地域包括支援センターとで地域における課題を協議・共有し、センターごとに毎年度の「事業重点目標」を設定する。このことを通じて運営方針を明確化している。</li> <li>○予防給付の介護予防ケアプランの作成を指定居宅支援事業者の一部委託する場合においても、地域包括支援センターの職員が同プランの点検やサービス担当者会議へ参加をし、介護予防ケアプランの質の向上並びにケアマネジャーへの指導、支援を図っている。</li> <li>○地域包括支援センター運営協議会を開催し、地域包括支援センターの中立・公正な運営を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業実施目標の到達状況等をセンター相互で確認し合い、アプローチ等を検討する機会を設ける</li> <li>○継続実施。</li> <li>○継続実施。</li> </ul>
		②健康づくり・介護予防事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○要支援・要介護認定を受けていない高齢者について「基本チェックリスト」を個別送付した。送付対象者は約18,000人、回答率は73.9%であった。</li> <li>○上記のチェックリストの結果を受け、介護予防が必要とスクリーニングされた方については、個別に介護予防事業等への参加勧奨を行い、介護の重度化の防止に努めている。また、どなたでも参加できる介護予防教室等を各地にて展開している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○24年度の回答率を下回った結果となったため、更に分かりやすく、見やすく、回答しやすいチェックリストにし、より回答率の向上に努めていく。</li> <li>○二次予防事業対象者把握事業は言わば「入口」の取り組みであり、より介護リスクの高い方をスクリーニングし、実際の事業に結びつけることが課題となる。</li> </ul>

## 第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 進捗状況(平成25年度末時点)

基本理念: 認めあい、つなぎあい、支えあうまち 東村山

第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			取り組み状況(平成25年度末時点)	今後の方針・課題等																			
基本目標	施策の方向	おもな取り組み																					
		③地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)に関する取り組み	○具体的な実施の検討には至っていない。	○法改正により、平成29年度までには全ての自治体において介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)を実施することとなる。新たな総合事業の在り方を検討し、実施時期を検討する。																			
		④家族介護者教室及び家族介護者の集い(らくらっく)の充実	○基幹型地域包括支援センターにおいて、高齢者を介護する家族の福祉の増進のため、家族介護者の集い「らくらっく」の充実を目指し、ボランティアの確保を図った。一人立ちしていく「らくらっく」と地域包括支援センターとのつながりづくりを支援した。 また、平成25年度には新たに東部圏域に会場を設け、市内計3か所にて家族介護者教室を開催している。	○継続実施。																			
		⑤医療との連携の推進	○平成24年度末に北多摩北部圏域に設置された認知症疾患医療センター(山田病院)と連携協議会や個別のケースを通じて連携を図った。  ○東村山市医師会の「認知症を考える会」の協力のもと、家族介護者や老人クラブ等を対象に認知症の講演会を実施したり、「認知症を考える会」と地域包括支援センターとの交流会を行い連携の強化を図った。また、東村山市医師会のホームページに「もの忘れ相談実施医療機関」を掲載していただいた。  ○健康課で東村山市医師会に委託し、医療相談(診療内科・もの忘れ相談12回/年、内科相談6回/年)を実施した。	○地域ケア会議等において、主治医や病院のソーシャルワーカー、看護師等の医療職を含めた多職種連携が促進されるよう、地域包括支援センターと病院のソーシャルワーカー等との連携会議を検討中。																			
		⑥高齢者等生活支援ホームヘルプサービス事業の継続	○日常生活を営む上で支障がある高齢者等に対して、生活支援ホームヘルパーを派遣し、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、地域の中で安心して自立した生活を営むことができるよう支援することを目的とした事業として、予防給付のホームヘルプサービス(介護予防訪問介護)の給付及び費用負担との整合性を保ちながら、対象者にサービス提供を実施した。  主な対象者要件: ※以下の条件すべてに該当する方 ・市内に住所を有する65歳以上、もしくは40歳から64歳で介護保険において規定されている特定疾病を持つ方 ・要介護認定の申請をし、非該当となった方のうち、必要性が認められる方	○継続実施。																			
			<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">実績</th> </tr> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣世帯数(世帯)</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>利用延べ回数(回)</td> <td>57</td> <td>23</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	実績				平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	派遣世帯数(世帯)	3	1	0	0	利用延べ回数(回)	57	23	0	0	
区分	実績																						
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																			
派遣世帯数(世帯)	3	1	0	0																			
利用延べ回数(回)	57	23	0	0																			

## 第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 進捗状況(平成25年度末時点)

基本理念:認めあい、つなぎあい、支えあうまち 東村山

第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			取り組み状況(平成25年度末時点)	今後の方針・課題等																			
基本目標	施策の方向	おもな取り組み																					
		⑦高齢者紙おむつ代支給事業の継続	<p>○平成25年度においては、高齢者紙おむつ代支給事業として在宅の要介護高齢者の介護等に必要紙おむつの購入費(1月～12月購入分)に対して助成金(上限24,000円/年)を交付し、その家庭における経済的負担の軽減を図った。平成25年度は、236人を対象に助成金を交付した。</p> <p>主な交付対象要件:市内に住所を有する65歳以上の方 要介護3以上の認定を受けて在宅で紙おむつを使用している方 市民税非課税の方</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">実績</th> </tr> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給人数(人)</td> <td>236</td> <td>229</td> <td>256</td> <td>236</td> </tr> <tr> <td>支給総額(円)</td> <td>4,390,019</td> <td>4,489,967</td> <td>4,781,416</td> <td>4,431,075</td> </tr> </tbody> </table>	区分	実績				平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	支給人数(人)	236	229	256	236	支給総額(円)	4,390,019	4,489,967	4,781,416	4,431,075	○事業を継続しつつ、助成のあり方を検討していく。
区分	実績																						
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																			
支給人数(人)	236	229	256	236																			
支給総額(円)	4,390,019	4,489,967	4,781,416	4,431,075																			
		⑧長寿記念品贈呈事業の継続	<p>○米寿(88歳)および100歳を迎える方を対象に、長寿記念品(88歳:5,000円相当 100歳:25,000円相当)を贈呈し、その長寿を祝うとともに敬老の意を表すことを目的とした事業として実施した。 100歳を迎える方に対しては市長の訪問による祝状および記念品の贈呈を行った。</p>	○継続実施。																			
		⑨移送サービス等の推進	<p>○福祉有償運送事業について、市ホームページへの掲載を継続し、周知を図った。また、事業者の更新登録申請への協力を行った。</p>	○事業周知を継続するとともに、事業者からの相談に応じ、更新登録申請等を支援していく。																			
	(2)地域における高齢者の見守りと自立支援のネットワークの構築	①地域との連携強化と自立支援のネットワークの構築	<p>○地域の実情に応じた地域住民等との連携の在り方を検討し、各地域におけるネットワーク構築を図っている。</p> <p>○高齢者の見守り活動を行う機運の高まった地域においては、高齢者等見守り補助事業の活用を図った(下記④を参照)。</p> <p>○地域の高齢者が興味・関心を抱けるような内容を検討し、より多くの方が参加できるような形での介護予防教室を開催した。また、関係機関等からの講師派遣など地域の求めには積極的に応じた。</p> <p>○地域包括支援センターによる365日24時間の相談体制を継続実施した。</p>	○継続実施。																			
		②老人相談員事業の充実	<p>○70歳以上のひとり暮らし高齢者及び75歳以上の高齢者世帯を対象に、老人相談員が訪問して緊急連絡先調査を行い、名簿を作成し、名簿をもとに年間を通じて見守り活動を実施した。また、名簿情報を老人相談員、市及び地域包括支援センターで共有し、見守り・相談活動への活用を図った。 老人相談員の欠員地区については、市と地域包括支援センターが訪問し名簿の作成を行った。</p> <p>平成25年度末時点 ひとり暮らし高齢者 4,894人 高齢者世帯 1,764世帯</p>	<p>○継続実施。</p> <p>○増え続ける対象者及び老人相談員欠員地区の対応が課題であるが、地域包括支援センター等関係機関との連携強化と、地域の見守り活動団体等とのネットワークの構築を図ることで対応していく。</p>																			



## 第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 進捗状況(平成25年度末時点)

基本理念:認めあい、つなぎあい、支えあうまち 東村山

第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			取り組み状況(平成25年度末時点)	今後の方針・課題等														
基本目標	施策の方向	おもな取り組み																
		③高齢者配食サービス事業の継続	<p>○食の自立支援の観点から、地域包括支援センターが作成する介護予防ケアプランに基づく配食サービス(月～金の週5回、1食につき自己負担額550円、食事提供時の安否確認)を継続して実施した。緊急時には地域包括支援センター等の関係機関と連絡調整を図った。民間配食サービス事業者の参入増の影響等により延べ配食数は減少傾向にある。</p> <p>主な対象者要件:※以下の条件のいずれかに該当する方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に住所を有する65歳以上のひとり暮らしで食事の調理が困難と認められる方</li> <li>・市内に住所を有する70歳以上の高齢者世帯で、食事の調理が困難と認められる方</li> <li>・その他生活環境等から特に配慮が必要と認められる75歳以上の方</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">実績</th> </tr> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ配食数(食)</td> <td>39,638</td> <td>34,956</td> <td>34,570</td> <td>32,397</td> </tr> </tbody> </table>	区分	実績				平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	延べ配食数(食)	39,638	34,956	34,570	32,397	○継続実施。
区分	実績																	
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度														
延べ配食数(食)	39,638	34,956	34,570	32,397														
		④高齢者見守り事業の実施	<p>○高齢者の見守り活動を行う機運が高まった地域においては、事業実施計画や会則、パンフレット作成等の事務的な支援も行い、高齢者見守り団体等補助事業を円滑に活用できるよう働きかけている。</p> <p>平成25年度は、秋津町と青葉町に発足した見守り団体に対し活動費の補助を行っている。</p> <p>○救急医療情報キット配布事業 老人相談員事業で作成・活用しているひとり暮らし高齢者緊急連絡先名簿に年齢到達や転入等で新たに搭載されたひとり暮らし高齢者に救急医療情報キットを配布した。</p>	○継続実施。  ○継続実施。														
		⑤高齢者緊急通報システム事業の継続	<p>○緊急の事態に陥った時に通報ボタンを押すことで、委託先の民間警備事業者を通じて東京消防庁に通報する事業を継続して実施した。</p> <p>主な対象者要件:※以下の条件すべてに該当する方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に住所を有する65歳以上のひとり暮らし、または夫婦等の高齢者世帯の方</li> <li>・身体上の慢性疾患があること等により、日常生活を営む上で常時注意を要する方</li> <li>・市民税非課税の方、もしくは市民税課税で年間の合計所得金額が200万円未満の方</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">実績</th> </tr> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用世帯数(世帯)</td> <td>81 〔消防方式:20 民間方式:61〕</td> <td>79 〔民間方式:79 (※休止4世帯を含む)〕</td> <td>102 〔民間方式:106 (※休止4世帯を含む)〕</td> <td>113 〔民間方式:113 (※休止1世帯を含む)〕</td> </tr> </tbody> </table>	区分	実績				平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	利用世帯数(世帯)	81 〔消防方式:20 民間方式:61〕	79 〔民間方式:79 (※休止4世帯を含む)〕	102 〔民間方式:106 (※休止4世帯を含む)〕	113 〔民間方式:113 (※休止1世帯を含む)〕	○民間警備事業者による事業を継続しつつ、設置の推進を図る。
区分	実績																	
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度														
利用世帯数(世帯)	81 〔消防方式:20 民間方式:61〕	79 〔民間方式:79 (※休止4世帯を含む)〕	102 〔民間方式:106 (※休止4世帯を含む)〕	113 〔民間方式:113 (※休止1世帯を含む)〕														
(3)権利擁護支援体制の充実		①認知症高齢者等の権利擁護の充実	○成年後見制度および地域福祉権利擁護事業の積極的な推進、周知を図った。また、経済悪化等により後見人報酬の負担が困難なかが成年後見制度を利用できるよう、成年後見人報酬助成制度を開始した(市長申立てに限る)。	○継続実施。														

## 第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 進捗状況(平成25年度末時点)

基本理念: 認めあい、つなぎあい、支えあうまち 東村山

第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			取り組み状況(平成25年度末時点)	今後の方針・課題等																			
基本目標	施策の方向	おもな取り組み																					
		②養護老人ホームとの連携による措置入所の円滑化	○東村山老人ホーム(青葉棟)の廃止を受け、利用者の入所先変更を行うに際して、平成24年7月に新規開設した「さくらコート青葉町」と密に連絡・連携を図っている。	○養護老人ホームの入所者の中には、虐待や立ち退き等の緊急的な対応を求められるケースが多くなってきているため、緊急対応が出来るよう、今後とも市内外の施設との連携を密に図っていく。																			
		③生活支援短期入所事業(緊急ショートステイ)の継続	○高齢者虐待等の緊急に保護を必要とする高齢者を一時的に施設に短期入所させることにより、高齢者の生活の安定に寄与することを目的とした事業。市内の介護老人福祉施設との連携により、平成25年度は1名の方に対応した。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">実績</th> </tr> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用人数(人)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>延べ利用日数(日)</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>49</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	区分	実績				平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	利用人数(人)	0	1	5	1	延べ利用日数(日)	0	2	49	2	○継続実施。
区分	実績																						
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																			
利用人数(人)	0	1	5	1																			
延べ利用日数(日)	0	2	49	2																			
相談しやすいしくみづくりとわかりやすい情報提供	(1)相談支援体制の強化	①地域包括支援センターによる相談対応の強化	○地域の身近な相談窓口として日常生活圏域ごとに設置された5か所の地域包括支援センターにおいて、迅速できめ細かい相談対応ができるように、人員体制を含めた体制強化(平成24年度職員各センター1名増)を図った。  ○各地域包括支援センターに高齢者の見守り専任の相談員を配置し、積極的に地域に出向いて地域包括支援センターのPR活動を実施しながら、地域との連携強化を図った。  ○地域包括支援センターネットワークシステムを活用し、各地域包括支援センターと高齢介護課の連携強化を図り、相談業務の効率化に努めた。	○継続実施。  ○継続実施。  ○継続実施。																			
		②総合相談窓口の充実	○いきいきプラザ1階の総合窓口業務を、平成26年度から、生活福祉課から高齢介護課に移管する。	○来庁した市民に対し、健康・福祉・子育て分野について、より適切に窓口の案内、担当者への取り次ぎを行っていく。																			
	(2)情報提供に関する取り組みの充実と情報の集約	①情報提供に関する取り組みの充実	○市ホームページを活用し、会議・イベントの案内等を積極的に行った。当市の介護保険事業のパンフレット「すこやか介護保険 利用のてびき」を発行し、窓口配布等を行った。	○事業、サービスの情報提供を継続するとともに、第6期計画策定についても、適宜、わかりやすく市民に周知していく。																			
		②介護事業者情報の集約と提供	○介護事業者連絡会(居宅介護支援事業者・訪問介護事業者・通所サービス事業者)が作成した「事業所紹介リーフレット」を配布することにより、利用者のサービス選択に資する情報提供を行った。	○継続実施。																			
		③地域包括支援センターの周知	○地域包括支援センターの認知度向上をめざし、サービス利用の当事者である高齢者のみならず、幅広い世代の方々にセンターの役割等を認知していただけるよう、センター職員による地域に出向いての活動強化・PR活動・広報誌の発行等に努めた。	○継続実施。																			

## 第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 進捗状況(平成25年度末時点)

基本理念: 認めあい、つなぎあい、支えあうまち 東村山

第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			取り組み状況(平成25年度末時点)	今後の方針・課題等																						
基本目標	施策の方向	おもな取り組み																								
みんなでつながり、参加する東村山の福祉	(1) 高齢者の社会参加・交流の促進	① 自主グループ活動への支援	<p>○「健康長寿のまちづくり推進室」を高齢者の自主的な健康・生きがいつくり活動の拠点、各グループの育成、情報交換の場として活用していただいた。</p> <p>○地域包括支援センターや市で介護予防を中心とした技術的支援(出張講座等)を実施した。</p>	○継続実施。																						
		② いきいきサロンの継続	<p>○『萩山憩いの家』において、要支援・要介護状態に該当しない高齢者の介護予防・健康維持増進、閉じこもり防止等を目的としたプログラムによる「いきいきサロン」を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">区分</th> <th colspan="4" style="text-align: center;">実績</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">平成22年度</th> <th style="text-align: center;">平成23年度</th> <th style="text-align: center;">平成24年度</th> <th style="text-align: center;">平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">利用登録者数(人)</td> <td style="text-align: center;">24</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">47</td> <td style="text-align: center;">48</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">いきいきサロン萩山 利用延べ人数(人)</td> <td style="text-align: center;">1,536</td> <td style="text-align: center;">1,358</td> <td style="text-align: center;">1,888</td> <td style="text-align: center;">2,016</td> </tr> </tbody> </table>	区分	実績				平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	利用登録者数(人)	24	30	47	48	いきいきサロン萩山 利用延べ人数(人)	1,536	1,358	1,888	2,016	○いきいきサロン萩山の利用促進を図りつつ、地域の介護予防の拠点の1つとして、他の憩いの家でのサロン展開についても引き続き検討課題とする。			
		区分	実績																							
平成22年度	平成23年度		平成24年度	平成25年度																						
利用登録者数(人)	24	30	47	48																						
いきいきサロン萩山 利用延べ人数(人)	1,536	1,358	1,888	2,016																						
③ 憩いの家事業の継続	<p>○市内にお住まいの概ね60歳以上の方を対象に、高齢者相互の親睦や憩いの場としてだけでなく、「心身の健康づくり」や「自らの生活を豊かにする社会参加」等の生きがいつくり活動により福祉の増進を図ることを目的として市内に4館(久米川・萩山・富士見・廻田)を設置している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">区分</th> <th colspan="4" style="text-align: center;">実績</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">平成22年度</th> <th style="text-align: center;">平成23年度</th> <th style="text-align: center;">平成24年度</th> <th style="text-align: center;">平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">個人利用者数(人)</td> <td style="text-align: center;">60,374 <small>(久米川:10,146 萩山:17,070 富士見:26,083 廻田:7,075)</small></td> <td style="text-align: center;">43,817 <small>(久米川:6,490 萩山:11,681 富士見:20,793 廻田:4,853)</small></td> <td style="text-align: center;">45,094 <small>(久米川:6,463 萩山:11,997 富士見:22,434 廻田:4,200)</small></td> <td style="text-align: center;">46,499 <small>(久米川:6,364 萩山:12,817 富士見:22,930 廻田:4,388)</small></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">団体利用数(件)</td> <td style="text-align: center;">1,604 <small>(久米川:239 萩山:615 富士見:403 廻田:347)</small></td> <td style="text-align: center;">1,583 <small>(久米川:212 萩山:623 富士見:382 廻田:366)</small></td> <td style="text-align: center;">1,756 <small>(久米川:334 萩山:562 富士見:482 廻田:378)</small></td> <td style="text-align: center;">1,917 <small>(久米川:401 萩山:667 富士見:448 廻田:401)</small></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">団体利用数(人)</td> <td style="text-align: center;">22,172 <small>(久米川:5,131 萩山:8,039 富士見:5,164 廻田:3,838)</small></td> <td style="text-align: center;">21,782 <small>(久米川:4,344 萩山:8,130 富士見:5,109 廻田:4,199)</small></td> <td style="text-align: center;">23,719 <small>(久米川:5,513 萩山:7,611 富士見:6,684 廻田:3,911)</small></td> <td style="text-align: center;">23,514 <small>(久米川:5,632 萩山:8,006 富士見:5,614 廻田:4,262)</small></td> </tr> </tbody> </table>	区分	実績				平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	個人利用者数(人)	60,374 <small>(久米川:10,146 萩山:17,070 富士見:26,083 廻田:7,075)</small>	43,817 <small>(久米川:6,490 萩山:11,681 富士見:20,793 廻田:4,853)</small>	45,094 <small>(久米川:6,463 萩山:11,997 富士見:22,434 廻田:4,200)</small>	46,499 <small>(久米川:6,364 萩山:12,817 富士見:22,930 廻田:4,388)</small>	団体利用数(件)	1,604 <small>(久米川:239 萩山:615 富士見:403 廻田:347)</small>	1,583 <small>(久米川:212 萩山:623 富士見:382 廻田:366)</small>	1,756 <small>(久米川:334 萩山:562 富士見:482 廻田:378)</small>	1,917 <small>(久米川:401 萩山:667 富士見:448 廻田:401)</small>	団体利用数(人)	22,172 <small>(久米川:5,131 萩山:8,039 富士見:5,164 廻田:3,838)</small>	21,782 <small>(久米川:4,344 萩山:8,130 富士見:5,109 廻田:4,199)</small>	23,719 <small>(久米川:5,513 萩山:7,611 富士見:6,684 廻田:3,911)</small>	23,514 <small>(久米川:5,632 萩山:8,006 富士見:5,614 廻田:4,262)</small>	○継続実施。
区分	実績																									
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																						
個人利用者数(人)	60,374 <small>(久米川:10,146 萩山:17,070 富士見:26,083 廻田:7,075)</small>	43,817 <small>(久米川:6,490 萩山:11,681 富士見:20,793 廻田:4,853)</small>	45,094 <small>(久米川:6,463 萩山:11,997 富士見:22,434 廻田:4,200)</small>	46,499 <small>(久米川:6,364 萩山:12,817 富士見:22,930 廻田:4,388)</small>																						
団体利用数(件)	1,604 <small>(久米川:239 萩山:615 富士見:403 廻田:347)</small>	1,583 <small>(久米川:212 萩山:623 富士見:382 廻田:366)</small>	1,756 <small>(久米川:334 萩山:562 富士見:482 廻田:378)</small>	1,917 <small>(久米川:401 萩山:667 富士見:448 廻田:401)</small>																						
団体利用数(人)	22,172 <small>(久米川:5,131 萩山:8,039 富士見:5,164 廻田:3,838)</small>	21,782 <small>(久米川:4,344 萩山:8,130 富士見:5,109 廻田:4,199)</small>	23,719 <small>(久米川:5,513 萩山:7,611 富士見:6,684 廻田:3,911)</small>	23,514 <small>(久米川:5,632 萩山:8,006 富士見:5,614 廻田:4,262)</small>																						



## 第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 進捗状況(平成25年度末時点)

基本理念: 認めあい、つなぎあい、支えあうまち 東村山

第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			取り組み状況(平成25年度末時点)	今後の方針・課題等																								
基本目標	施策の方向	おもな取り組み																										
		④老人クラブ活動の支援の継続	<p>○単位クラブによる「健康活動・友愛活動・奉仕活動」(全国三大運動)を中心とした活動を「東村山市老人クラブ連合会」と連携し、支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">実績</th> </tr> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単位クラブ数(人)</td> <td>48</td> <td>48</td> <td>49</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>会員数(人)</td> <td>3,350</td> <td>3,401</td> <td>3,300</td> <td>未集計</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※会員数は、翌年度4月1日現在)</p>	区分	実績				平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位クラブ数(人)	48	48	49	49	会員数(人)	3,350	3,401	3,300	未集計	○新たな会員を獲得し、活性化を図るため、老人クラブが行う各種活動を側面支援していく。					
区分	実績																											
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																								
単位クラブ数(人)	48	48	49	49																								
会員数(人)	3,350	3,401	3,300	未集計																								
		⑤長寿を共に祝う会のあり方の検討	<p>○市内在住宅の77歳以上を対象として、長寿を共に祝う会を開催した。平成22年度以降、各町の考え方にに基づき、長寿を共に祝う会の開催に替えて対象者への個別の記念品配布を行う町が出てきており、長寿を共に祝う会への参加者数そのものは減少傾向にある。平成25年度は台風の影響により、2町の開催が中止となったが、参加率は増であった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">実績</th> </tr> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施した町数(町)</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>参加者数(人)</td> <td>2,530</td> <td>2,068</td> <td>2,062</td> <td>1,979</td> </tr> <tr> <td>参加率(%)</td> <td>23.5</td> <td>23.4</td> <td>22.1</td> <td>26.4</td> </tr> </tbody> </table>	区分	実績				平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	実施した町数(町)	12	10	9	7	参加者数(人)	2,530	2,068	2,062	1,979	参加率(%)	23.5	23.4	22.1	26.4	○継続実施。
区分	実績																											
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																								
実施した町数(町)	12	10	9	7																								
参加者数(人)	2,530	2,068	2,062	1,979																								
参加率(%)	23.5	23.4	22.1	26.4																								
		⑥シルバー人材センターの事業活動の支援	<p>○シルバー人材センターの行う就業機会の提供、拡大に向けた営業活動等、事業全般を側面支援した。</p> <p>シルバー人材センターにおける具体的な取り組みとしては、会員からの提案を活用する制度の開始、新規事業開始までの制度の簡素化、ワンコイン事業の開始、女性委員会の立ち上げによる女性会員の増強と就業機会の開拓、いきいきプラザエントランスホールにおいてシルバー人材展の開催等就業機会の拡大に努めている。また、安全就業に関する取り組みとして、会員を対象とした体力測定、安全運転講習会、転倒予防講習会等会員の事故防止にも努めている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">実績</th> </tr> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会員数(人)</td> <td>1,533</td> <td>1,467</td> <td>1,355</td> <td>1,327</td> </tr> <tr> <td>就業実人数(人)</td> <td>1,178</td> <td>1,055</td> <td>1,050</td> <td>1,008</td> </tr> </tbody> </table>	区分	実績				平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	会員数(人)	1,533	1,467	1,355	1,327	就業実人数(人)	1,178	1,055	1,050	1,008	○平成26年度に向けては、就業先の新規開拓のため就業機会拡大支援員を配置し、就業希望者の増加に対応していく。					
区分	実績																											
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																								
会員数(人)	1,533	1,467	1,355	1,327																								
就業実人数(人)	1,178	1,055	1,050	1,008																								
(2)協働による地域福祉体制の推進		①計画推進体制の確立	○第6期計画の策定を検討する庁内検討会において、第5期計画を着実に推進することの重要性を改めて説明し、職員の意識啓発、動機づけを行った。	○職員に対して、第5期計画の目的、個々の事業内容についての研修を実施し、計画への理解を深めていく。 ○25年度の進捗状況を整理し、第6期計画策定につなげていく。																								
		②協働による地域福祉体制の推進	○第6期計画の策定において、市民向けのアンケート調査や、事業所向けのアンケート調査、グループインタビュー調査を実施し、市民意向の把握に努めた。特に55歳以上64歳以下をアンケート調査対象に加え、これまで市政に関わりの少ない世代の意識を把握した。	○第6期計画策定、事業展開の中で、市民、関係団体と協働していく。																								